

持続可能な地域・自治体経営モデルを発信

財政再建と大阪再生をめざす

19年度の財政危機を確実に克服し、赤字構造からの脱却をめざすとともに、「大阪再生に向けた府政のめざすべき方向」の7つの戦略的取組分野への施策の重点化を図る。

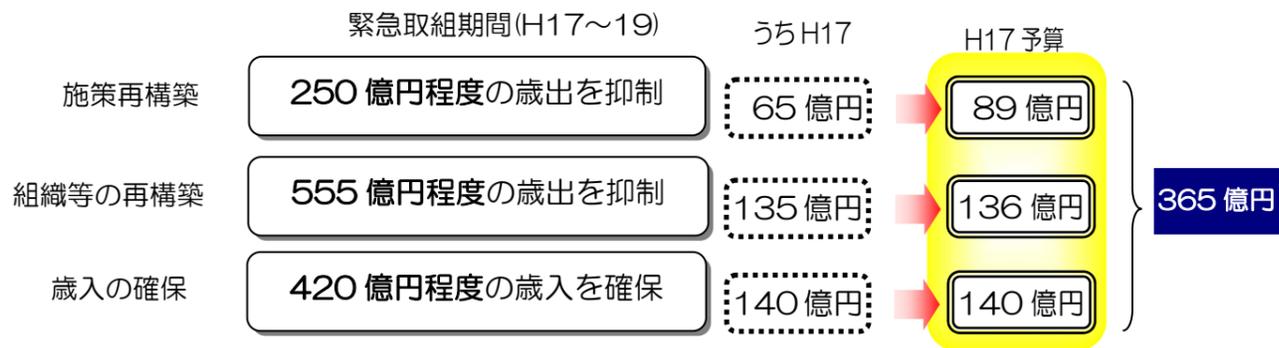
17年度における取組

- 1.財政危機克服に向け、計画案を上回る取組。平成17年度予算を踏まえ財政収支を見直し、19年度危機克服に向け前進。
- 2.7つの戦略的取組分野における平成17年度実施事業を決定し、大阪再生に向け、さらなる一步を踏み出す。
- 3.財政体質、経営体質の改善に向け、民の目線も取り入れながら、さらなる改革に取り組む。

財政再建に向けて

1.財政危機克服に向け、計画案を上回る取組。平成17年度予算を踏まえ財政収支を見直し、19年度危機克服に向け前進。

《取組効果額》



《H17年度予算を踏まえた財政収支》

(単位:億円)

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
単年度収支	▲1,332	▲1,171	▲1,176	▲631	▲436	▲241	59
減債基金の活用(借入れ)	1,332	1,171	1,176	631	436	241	0
減債基金活用後累積収支	▲289	▲289	▲289	▲289	▲289	▲289	▲230
減債基金活用可能残高	1,640	979	258	207	421	830	1,320

大阪再生に向けて

2.7つの戦略的取組分野における平成17年度実施事業を決定し、大阪再生に向け、さらなる一步を踏み出す。

《2つの視点と7つの取組分野》

◆視点1『アジアの中の大阪』

- ① 大阪産業の強みに磨きをかけ雇用を創出
- ② 観光魅力と文化力アップ
- ③ 快適な都市環境の創造、着実な自然再生
- ④ 広域的なネットワークの確立

◆視点2『住む人が安心できる大阪』

- ⑤ 府民に信頼される安全なまちづくり
- ⑥ 社会全体での次世代の育成支援
- ⑦ 誰もが自立し、生きがいをもって暮らせる社会づくり

《再生重点枠》

- ◆再生重点枠事業として、
 - ④ 7戦略的取組分野を効果的に推進
 - ④ 再生重点枠以外の事業との相乗効果
 - ④ 民間との連携や制度改正との組み合わせなど、多様な手法
- などに配慮した事業を、重点的に推進

平成17年度 再生重点枠の活用

- 産業競争力の強化
 - 観光・集客の促進と文化力アップ
 - みどりをふやし、大阪をクール化
 - くらしの安全・安心の確保
 - 明日を担う人材の育成
- ※ 事業費 280 億円 (一般財源 30 億円)

3. 財政体質、経営体質の改善に向け、民の目線も取り入れながら、さらなる改革に取り組む。

- ◆税財政制度や民間活力の活用等に関するものは、行財政改革ワーキング・グループにおいて民間の感覚や発想を活かしながら、検討をすすめる。
- ◆府政運営全般の改革に向け、214項目について、着実かつスピードある改革に取り組む。